



## 卒業に向けて

3年生は、いよいよ卒業間近となりました。卒業式までの3週間をより充実させましょう。

公立入試を受検する皆さんは、いよいよ最後の追い込みです。ポイントは、①新しい参考書、問題集に手を出さないこと、②基本的な問題であいまいな部分を一つでも多く減らすこと、の2点。あいまいな10問より、確実な5問を心がけて！ぼんやり学習は禁物です。

また、すでに進学先が決まっている皆さんは、(新しいことを習わない)今の時期こそが、学習に力を入れたり、将来のことについて考えるのに最適です。

例えば、高校の部活動では全国大会を目指す努力をします(わかりやすい例が「甲子園」ですね)。競技力向上に多くの時間を割くため、学習との両立がより厳しくなります。高校の学習内容の多くは中学校の延長上にあり、全く違うことをする訳ではありません。つまり今、中学の学習内容を深めておけば、進学後に余裕を持って競技に打ち込めます。

また、就職への直接的な取り組みは2年後(3年後ではない)になりますが、あつという間に訪れます。今のうちからそのときのためによく考えておくべきです。就職するのか、進学するのか。あなたが進む高校の求人(実績は公表されています)の中からどの業種、会社を選ぶのか。取りたい資格は何か。必要な情報を集め、高校で「どのような努力」をするのか、じっくり自分と向き合い、考えましょう。決断に時間のかかる人ほど早い取りかかりが望まれます。

まだ、春休み気分には早すぎます。この時期特有のアオハルな雰囲気も悪くありませんが、浮かれすぎないように時間を有効利用してほしいものです。まして事故や事件で、集大成の時を残念なものにしてしまわないよう、くれぐれも気を引き締めて過ごしてください。

### 公立高校入試引率について

職員で1日引率を実施するのは、受検生が6名以上の、伊集院、吹上、松陽、明桜館、甲南の5校のみです。上記以外の9校は、保護者の引率をお願いします。緊急時はまず高校へ、その後必要に応じて、中学校へ連絡をお願いします。詳細は27日(木)6校時の事前指導で各校ごとに連絡をします。

### スマホ持ち込めません！

公立高校入試では、不正防止の観点から、試験場(校舎内)へは持ち込めません。また引率の先生がいない学校もあり、預かることもできませんので、入試には持って行かないよう気をつけましょう。無断で持ち込んでトラブルにならないようお願いします。

裏面の「高等教育修学支援新制度」  
のお知らせも必ずご覧ください

### 誰も読んでくれそうにない話！?

閉鎖間近のドルフィンポート(鹿児島市)に散歩に行くことが増えました。昨年末のそこは、一体どこの国だろうと感じるほど外国人旅行者が溢れ、国際色豊かでした。人口減少がより顕著な地方都市の将来はどうなっていくのか、みなさんの歳であれば少し考えてみてもいいかと思います。そこで見た様子は、もしかするとそう遠くない未来の、鹿児島全体の姿かもしれません。

職場体験前の脇野真梨江さんの講演を憶えているでしょうか。ふるさとを大事にしながらも、世界的な視野を持つことの大切さを教えていただきました。これまで個人の選択肢は、「地元で生きる(地域人)」or「世界に飛び出す(国際人)」のどちらかのように思っていました。しかしこれからは、地域人=国際人というような状況(地域における国際的な多様化)が当たり前になるのかもしれない。

これからの時代ますます自分はどう生きていけるかが問われます。脇野さんは、「自分の地元で新しい価値を創造し、住みたいと思える場所に変えていければ…」と一つの例を示してくださいました。あなたは将来どこに住み、どのような生活を送りたいと考えていますか?高校進学その向こうを、今だからこそ少しでもいいから想像してもらいたいものです。

入試前日まで、実力は伸びる！

直前期に努力のスピードを落とさないように。全力で駆け抜けよう。



## 2020年4月から新制度がスタート!

**対象** 住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生

**支援内容** 大学・短大・高専(4~5年)・専門学校の

授業料・入学金の  
免除/減額 + 給付型奨学金の  
支給

**申請期間** 2020年4月以降(学校ごとに異なります)

- 授業料等減免と給付型奨学金(生活費)を併せた手厚い支援が受けられます。
- 高校等ごとの推薦枠(人数上限)はありません。(注) 高校等には、高等専門学校(3年次)、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校の高等課程を含みます。
- 高校等の成績だけで否定的な判断をせず、レポートや面談により本人の学修意欲や進学目的等を確認します。
- 進学先の大学等では、しっかり学習することが求められます。(成績次第で警告や支援の打ち切りもあります。)

### くわしい情報はこちら

文部科学省 特設HP



「学びたい気持ちを応援します」(制度全体の概要を確認できます。)

日本学生支援機構  
進学資金シミュレーター



「給付奨学金シミュレーション」  
(自身が対象となるかななどを  
大まかに調べられます。)

### 支援内容や手続きなどの相談窓口

- 日本学生支援機構 奨学金相談センター  
電話:0570-666-301(月~金, 9:00~20:00)  
\*土日祝日、年末年始を除く。通話料がかかります。  
\*給付型奨学金のほか、貸与型奨学金や返還のご相談も可能です。
- 各大学・専門学校等の学生課や奨学金窓口  
進学を目指す大学や専門学校の授業料等減免制度については、各学校の学生課や奨学金窓口にご相談してみましょ。



# 進路連絡板

伊集院中学校進路指導部

2月7日発行

## 今後の公立入試手続きについて

公立高校入試の出願（受検票を発行してもらった受検手続き）がほぼ完了しました。後は目標に向けて懸命に努力を続けるのみです。「人事を尽くして天命を待つ」、慌てず、どっしりと構えて力を蓄えてください。

17日より出願変更は可能ですが、安易な変更はおすすめできません。よく考え、家族とも話し合っただけで早め早めに検討、決断しましょう（考え過ぎるとその分学習が遅れることにもなりかねません）。迷う気持ちもよくわかります。自分にとってより良い選択ができるよう願っています。

(～13日)	公立高校出願	☆伊中ではほぼ完了しています
今日 ～13日	☆出願変更検討期間（出願変更を希望する可能性がある場合のみ） そのとき（14日）になってからでは、じっくり考える時間がありません（締切まで時間が少ないため）。必要な人は事前によく考えておきましょう。  ・一般受検の皆さん …①定員をどのくらい超えたときに変更を考えるか。 ②どこの高校、学科に変更するか。 の2点を事前に検討してください。  ・推薦受検の皆さん …もしもの場合、学校、学科を変更するか否か。 (内定の場合は「入学確約書」を12日までに提出)  ☆変更の可能性があれば、すぐに担任に相談し、できれば14日に入学志願変更願（場合によっては願書も）を受けとって帰りましょう。	
14日（金）	公立高校出願者数公表	・16時頃 鹿県教委ホームページ 18時過ぎ頃 TVのローカルニュースなど 翌朝 新聞（各地方紙または全国紙地方欄など） 期末テストで午前授業のため、下校までに情報提供できませんので、各自でチェックしてください。
17日（月）	出願変更校内締切	<input type="checkbox"/> 新しい志望先の <u>入学願書</u> は準備できていますか。 <input type="checkbox"/> 証明写真は貼ってありますか（必要な場合）。 <input type="checkbox"/> <u>入学志願変更願</u> は準備できていますか。 <input type="checkbox"/> 検定料の再納入は必要ありません。 (ただし推薦受検で出願変更の場合は必要)
25日（火）	最終出願数公表	・14日と同様に、各方法で公表されます。
3月 5～6日	一般入学者選抜	・これまでの努力を信じて、実力を出し切りましょう！

<重要> 高校側へ1度変更申請したら、2度と変更手続きはできません（1回限りです）